朝夕刊1カ月3,370円・1部(朝刊)100円(消費税込み) 第3種郵便物認可 岐阜新聞 2012年(平成24年)1月19日 木曜日

被災者に豆腐100万丁支援

パラグアイの日系農家ら

首相感謝状 贈呈へ

美濃加茂の会社、依頼受け製造

美濃加茂市の食糧輸入会社ギアリンクス（中田智洋社長）が東日本大震災の被災者に豆腐100万丁を贈る取り組みで、原料の大豆100トンを寄贈したパラグアイの日系農家らに、野田佳彦首相から感謝状が贈られることになった。中田さんは2月にパラグアイを訪れ、感謝状を伝達する予定で、「感謝の証しを届けたい」と話している。

同社は10年ほど前から現地の日系農家と交流があり、震災後に被災地支援の申し出を受けた。大豆を提供したのはイグアス農業協同組合で、パラグアイ日本人会連合会からは豆腐製造費が寄せられた。

感謝状は両団体と、活動に尽力した前駐日パラグアイ大使の田岡功さんに贈られる。中田さんはこのほど東京・永田町の首相官邸に豆腐を持参し、活動を説明した。

これまでに作った豆腐は約90万丁で、2月末に100万丁になる見込み。ただ、一人でも食べやすいよう当初より小さい製品も作っているため、大豆が残り、同社では全てを豆腐に加工して被災者に届ける予定。

製造や配達の費用を賄うため、一部を販売して収益を充てる。中田さんは「豆腐を購入して支援してもらえればうれしい」と呼び掛けている。

豆腐販売に関する問い合わせは「ちこり村」、電話0573（62）1545。

パラグアイの日系農家から贈られた大豆で作った豆腐を手にする中田智洋さん＝東京都内

運営支援のボランティア 十六旧友会が参加宣言

ぎふ清流国体

十六銀行OBでつくる「十六旧友会」の小里孝会長らが18日、県庁を訪れ、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の運営ボランティアへの参加を宣言した。

両大会オフィシャルスポンサー第1号の同行グループは、行員1千人がボランティアに参加するなど全面的な支援を行う。

現在約1200人の会員を数える旧友会でもボランティアを募ったところ、137人が参加を決めたという。

小里会長は「グループはさまざまな取り組みで応援機運を盛り上げている。私たちOBも微力ながら貢献し、活気にあふれ称賛される大会になることを祈念したい」とあいさつ。

武藤鉄弘ぎふ清流国体推進局長がお礼を述べ、「『輝け はばたけ だれもが主役』の合言葉通り、県民の皆さんの力を得て、輝けるよう頑張りたい」と決意を語った。（久松孝志）

武藤鉄弘局長（左から3人目）にボードを手渡す小里孝会長（同2人目）＝県庁

ミナモ募金に100万円

岐阜市土産品協会が寄付

岐阜市土産品協会は18日、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会を応援するミナモ募金に100万円を寄せた。

組合加盟33社中21社が、両大会マスコットキャラクター・ミナモの図柄が入った和洋菓子やグッズなどの土産品を、「推奨土産品」として旅館や売店などで販売、両大会のPRに一役買っている。

9月の本大会までには50～60アイテムになる予定で、参加企業も増える可能性があるという。

県庁を訪れた藤吉善弘代表理事は「商品はバラエティーに富んでいる。協会が作ったミナモ柄の手提げ袋も好調。ぜひ国体を応援したい」とあいさつ。目録を受け取った古田肇知事は「国体は県の魅力発信のチャンス。岐阜にいいものがあることをPRしたい」とお礼を述べた。（久松孝志）

ミナモのイラスト入り推奨土産品をPRする古田肇知事（左から2人目）や藤吉善弘代表理事（中央）ら＝県庁

巨匠20作家の絵画 一堂に

柳ケ瀬画廊で新春逸品展

日本を代表する巨匠らの絵画を集めた「2012年新春逸品展」が、岐阜市柳ケ瀬通の柳ケ瀬画廊で開かれている。この時季にふさわしい題材の油絵など20作家の25点が並ぶ。31日まで。

同画廊が10年以上続けている恒例の企画。明治から昭和にかけて活躍した洋画家・岡田三郎助の油絵で遺作展覧会にも出品された「富士」や、岡田と同じく文化勲章を受章した坂本繁二郎の「月」など。いずれも抑えた色調で自然のスケールの大きさを感じさせる。

同画廊は中津川市出身の洋画家熊谷守一の扱いでも知られ、今回も「朝日」を出品。ほかにも小磯良平、北川民次ら物故巨匠の作品が並び、美術ファンの目を楽しませている。（宮浦由美子）

物故巨匠の洋画などが並ぶ会場＝岐阜市柳ケ瀬通、柳ケ瀬画廊

油絵や彫刻、多彩な美

萌土社、県美術館で作品展

県内の画家や彫刻家らがジャンルを超えて集う「萌土社」の作品展「第43回萌土展」が、岐阜市宇佐の県美術館で開かれている。22日まで。

同グループは、さまざまな会派、ジャンルで活躍する作家らが、交流し刺激し合える場を持とうと、1969（昭和44）年から作品展を開催。岐阜、大垣、美濃加茂市などの12人が所属している。

今回は、油彩画や版画、石彫など約30点を展示。幾何学的な構図の版画や、流木と石を使った空間芸術など、独創的な表現の作品が並ぶ。

光をテーマに、アクリル画と白いパラフィンのオブジェを組み合わせた「ストレートシューター」を出品した野々村益男さん(57)＝岐阜市徹名通＝は、「自然界と光の関係を探ってきました」と話す。

独創的な表現を試みた作品が並ぶ会場＝岐阜市宇佐、県美術館

議会だより

揖斐川町　臨時会を18日開き、北和中学校体育館改築工事費、清水小学校体育館耐震補強工事費などを盛り込んだ13億813万円の本年度一般会計補正予算案など4議案を可決、閉会。

素描

復興支援

南宮大社宮司　宇都宮精秀

昨年のことで、記憶も風化しつつありますが、三月十一日の東日本大震災に際して、私ども神社界が行ったボランティア活動について述べさせていただきます。

阪神大震災の時、斯界も種々な活動を経験しましたが、一般の善意が、個々の神社の復興支援に及ばなかった教訓を生かして、最初に東北三県の各神社庁に問い合わせた処、宮城県石巻市相川地区に在る神社関係の避難施設で、意外に物資は足りているが、施設の子供達を元気付ける、何か娯楽をやって欲しいとの要請[illegible]ました。

南宮[illegible]を中心[illegible]青年会[illegible]が企画[illegible]十八、[illegible]かい、[illegible]作り、[illegible]ゲー[illegible]ても[illegible]た。

往復[illegible]道程[illegible]ランニ[illegible]は、自[illegible]即ち[illegible]がち、[illegible]一番難[illegible]のプロ[illegible]